

「手足症候群」の予防と対処

● 手足症候群とは？

- 手のひらや足の裏にしびれや痛み、皮膚が赤くなったり、角化（皮膚表面が硬く、厚くなってガサガサする）などが起きる副作用です。手の指先やかかとなどの力のかかるところに症状が出やすいことがわかっています。



日本イーライリリー株式会社発行「日常生活でのスキンケアのポイント」より引用

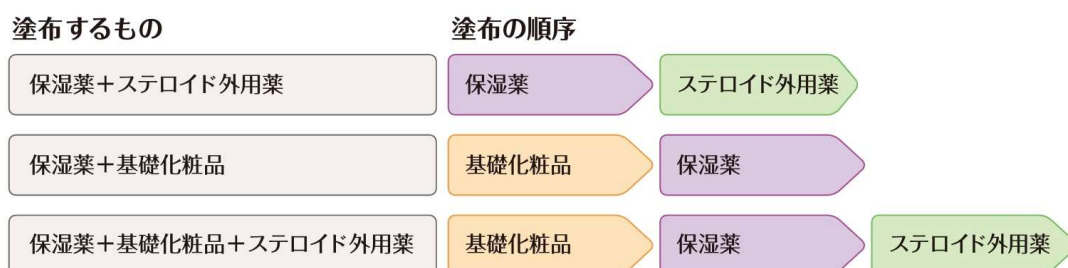
● 手足症候群を予防・早期発見するには？

- 手足症候群は症状が軽いうちに対処することで、悪化を防ぐことができる場合があります。カペシタピンの服用を始めたら、セルフケアを行いながら、手足をよく観察し、手足症候群があらわれていないか確認しましょう。

● セルフケアのポイント

- 予防的スキンケアの基本は、丁寧な洗浄による保清、保湿薬による保湿、紫外線予防や刺激・過度の外力を避けるなどといった保護の3つになります。
- 手足症候群があらわれた後の対応も、正しいスキンケアが必要になります。スキンケアに加えてステロイド外用薬による治療が大切になります。

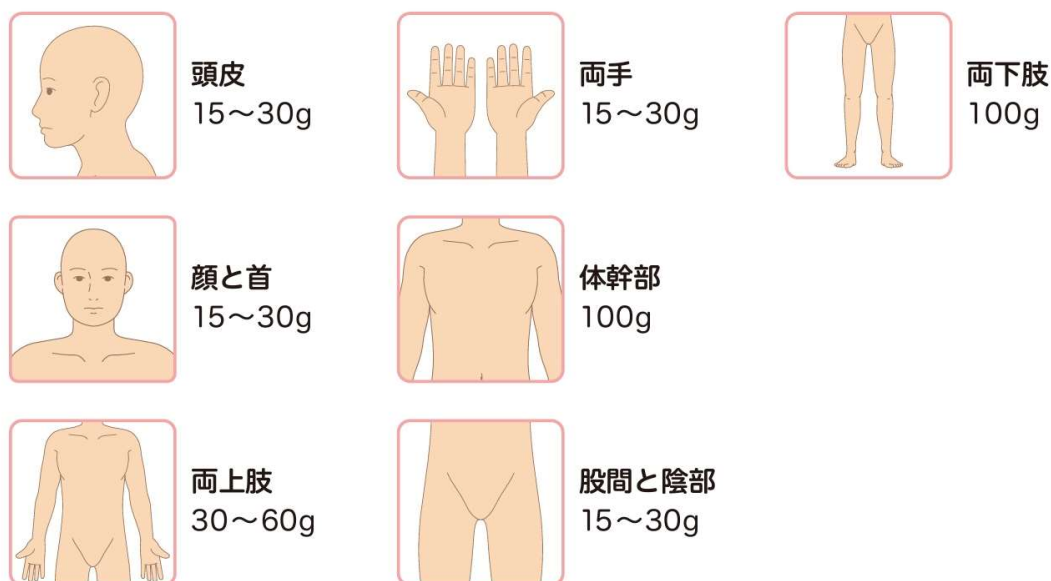
● 塗布の順序



日本イーライリリー株式会社発行「日常生活でのスキンケアのポイント」より引用

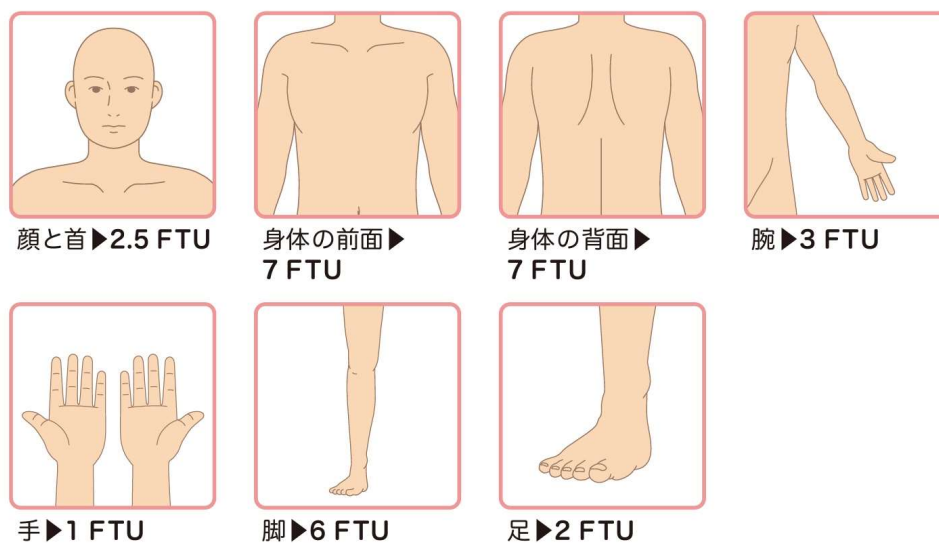
「手足症候群」の予防と対処

- 保湿薬の使用量の目安（成人2週間あたり）



日本イーライリリー株式会社発行「日常生活でのスキンケアのポイント」より引用

- ステロイド外用薬の使用量の目安（部位ごとの塗布量）



日本イーライリリー株式会社発行「日常生活でのスキンケアのポイント」より引用